クラブ活動
～最近の活動～

《クラブ活動結果一覧》

- **野球部**
  第20回　全国専門学校軟式野球選手権大会　**3位**
- **卓球部**
  第32回　東京都専門学校卓球選手権大会
  団体戦　**3位**
  男子シングルス　**優勝　2年　中山裕幸**
  教職員シングルス　**優勝　総務部　高田智和**
- **クロスカントリー部**
  第16回日本山岳耐久レース　71.5Km
  6名出場　3名完走
- **自動車研究部**
  日本EVフェスティバル
  ERKデュアルジムカーナ
  ERK-2クラス（72V）　**準優勝**
  ERK-1クラス（48V）　**準優勝**

「野球部」
―夢の全国大会出場―

自動車整備科　1年　羽田　明弘

春季大会から関東大会、夏季大会を経て、チーム全体にまとまりが出来て全国大会に臨めました。

初戦は多くの先生や学生、富山県のトヨタ販売店の方に応援に来て頂き、固さがあったものの何とか勝つ事が出来非常に嬉しかったです。毎日連戦が続き、チーム全体がベストな状態では無い中で、全国3位になれたのは結束の強さだと思います。また私個人としても、先輩たちと一緒に1試合でも多く野球がしたいと思い、プレーを続けました。

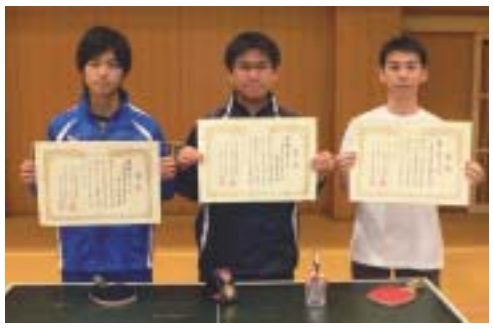
最後に、来年も沢山の人から応援して頂けるように頑張って行きたいと思いますので、応援宜しくお願い致します。

「卓球部」
―3度目の正直―

職員　高田　智和

私は10月に東京都専門学校卓球大会の職員の部に参加しました。過去2回の大会では、あと一歩という所で同じ相手に破れ悔しい思いをしてきました。今までは「勝ちたい！」という気持ちが強すぎて、大事な場面でミスを重ねていました。今回は「卓球を楽しむ！」事を心がけて試合に臨んだ結果、3度目の挑戦で優勝することが出来ました。

また、学生達も同大会で男子団体3位、2年生中山裕幸君も接戦を制して男子シングルス優勝という素晴らしい成績でした。12月に開催される全国大会でも、共に良い成績が残せるように努力します。



「自動車研究部」
―踏み過ぎ注意―

自動車整備科　1年　師岡　慧

11月3日に筑波サーキットで開催されたEVフェスティバルに参加しました。5月にEVのイベントに参加しましたが、この時は電動レーシングカート（ERK）に乗らなかったので、今回参加するのが楽しみでした。

私はERKジムカーナに出場しました。スタート前にチームの仲間がコース横で応援してくれているのを見て「絶対にゴールするぞ」と気合を入れました。ただ、気合が空回りしないよう、アクセルを踏みすぎてスピンしないことだけ十分気をつけて走り、2位になることが出来ました。

この経験を生かし、残りの学生生活もスピンしない限り全力で取り組んで行きます。

「クロスカントリー部」
―リベンジ、そしてゴール―

1級自動車科　3年　千本　健太

昨年も日本山岳耐久レースに参加しましたが、その時は、レース序盤から走ったことで足が痛くなり、第二関門タイムオーバーになってしまいました。私はそれが非常に悔しくて絶対にリベンジしてやろうと思い臨みました。

レースが始まり、周りがだんだん暗くなりヘッドランプの灯りを頼りに歩きました。また、途中で先生に会い引っ張ってもらい、挫けそうになった時はゴールをイメージして、昨年の反省を生かし、第三関門（58ｋｍ地点）まで走らず歩きました。

長い山道を終え、ついに道がアスファルトに変わり民家が沢山見えてきました。「残り600ｍ！」「あと少しだ！頑張れ！」など近所の方々から大きな声援を頂き、再び元気が出てきました。そしてゴールが見えた時、心の底から嬉しくなり自然に笑顔になっていました。そしてゴール！私は嬉しさのあまり、我を忘れて「やった～！」と叫びました。昨年叶わなかったこのゴールの喜びは格別で一生忘れることは無いでしょう。

私はこのレースの達成感は素晴らしいと思います。またゴール後の豚汁も格別でした。ぜひこの2つの味を皆さんに味わっていただきたいです。私はこの先も出来る限り出場したいです。己の心身鍛錬のために。

トヨタディーラー実務見学感想

1級自動車科　1年　三星　龍太郎

みなさんが笑顔で楽しそうに働いているのがとても印象的でした。エンジニアの方々は黙々と仕事に取り組んでおり、それがとても素早く、正確にやっていたのは「さすがプロ」と感じました。また、営業の方のお客様への配慮も完璧でした。残りの学校生活でしっかり勉強して、人としてもエンジニアとしても一人前になりたいと思いました。

自動車整備科　1年　東海林　浩太

実際の現場を見て、これから自分がやるべき事が見えた実務見学でした。

販売店で働く人の仕事を見て、車の特徴や他の車との違いをしっかり分かっていないといけないと思いました。また、この仕事は人の為にやるものであり、信頼感が大切だと感じました。私はエンジニアを数年経験し、その知識を活かし営業職にも挑戦してみたいと思っています。車の事はもちろん相手が何を考えているかを予想しながら仕事をすることが、自分にピッタリだと思っているからです。

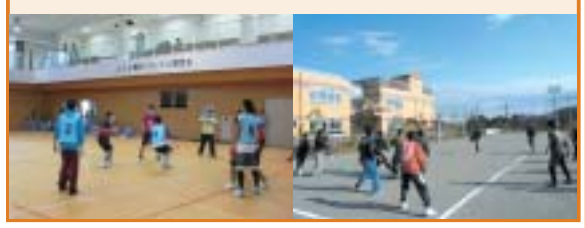
プリウスカップ視察

10月27日、仙台ハイランドレースウェイにて東北6県の販売会社の従業員参加による整備技術や燃費を競うプリウスカップが開催された。

開会式では当校の理事長でもある豊田章男副社長のご挨拶があり、その後21チームによる競技が行われ、山形トヨペットが総合優勝を果たした。今後は当校学生の参加も視野に入れていきたいと思う。

第13回スポーツ大会

今年のスポーツ大会は例年行われていた、サッカー，バスケットボール，バレーボールに加えて当校では新競技のドッジボールが行われた。各競技とも教室対抗戦になっており、白熱の試合が行われた。



新職員紹介

黒岩　芳春　先生

東京工科専門学校を卒業後、フォードジャパン（アメリカフォード直営会社）に入社し整備士、営業を経験しました。前職は、東急自動車整備専門学校で教員をしておりました。学生の皆さんと一緒に楽しく成長して行きたいと思います。宜しくお願い致します。

鈴木　秀明　先生

市原高等技術専門校を修了し、ホンダクリオ千葉でメカニックをやっていました。皆さんに整備の楽しさや奥深さが少しでも伝わればと思っています。一緒に楽しく学んで行きましょう。

石川　隆行　先生

専門科27期、研究科４期を卒業し、今年の11月までネッツトヨタ千葉にてエンジニアリーダーをしていました。

当校のスローガンである「技術を磨け、そして人間性も」、この意味の深さを皆さんに伝えていきたいと思います。どうぞ、よろしくお願い致します。

見学&ご来校者【1月～12月】

	ご来校者名（敬称略）
4・10月	秋田ダイハツ販売（株） 川喜田社長
6月	日産横浜自動車大学校 野村校長他4名
7月	名古屋トヨペット（株） 朱宮取締役他4名
	東京自動車大学校 小谷校長他6名
	アムラックスミレル研修　4名
8月	富士重工業株式会社 上野執行役員他2名
10月	神奈川トヨタ整備（株） 神崎社長他1名
	ネッツトヨタ山形（株） 遠藤常務取締役
11・12月	特許庁審査官　（研修）

編集後記

近年、自転車ブームが再来している。今はロード・バイクが主流であるが、昔はどちらかと言えばツーリング車が主流でキャリヤにバックを装着し寝袋やテントを持って出かけていた。私も自転車にもう一度乗ろうと思い20年以上前に使用していたツーリング車をメンテナンスし蘇らせた。そして、この愛車で訪れた事のない各地に時間を忘れ旅に出掛けたいと思う。（M）